

取扱説明

お買上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

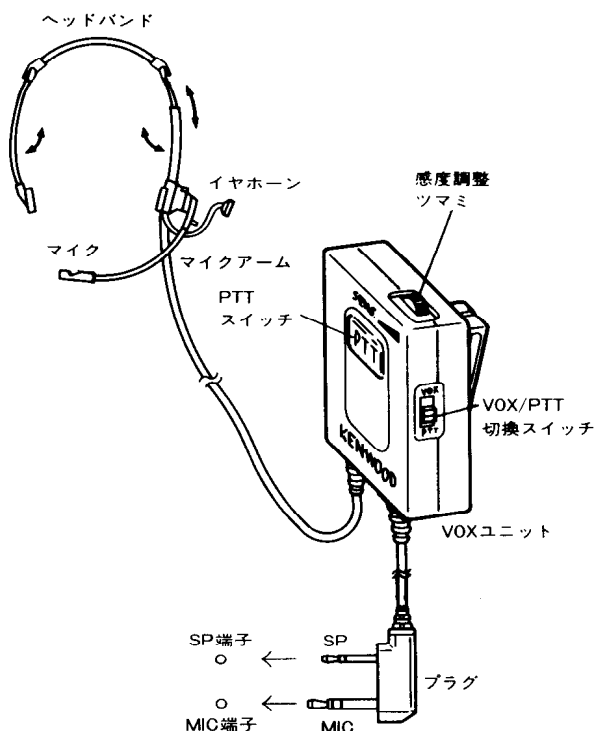
ご注意

ヘッドセットのプラグの抜き差しは、トランシーバーの電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

■装着

1. トランシーバーの電源をOFFにします。
2. トランシーバーの受信音量を最小にします。
3. トランシーバーのMIC、SP端子に、ヘッドセットのプラグを差し込みます。
4. ヘッドバンドを開閉してヘッドホンを左、または右耳の最適位置に装着します。
5. トランシーバーの電源をONにして、受信音量を希望の音量にします。
6. マイクロホンのフレキシブルパイプ部を調整して、口先から1～3cmのところにマイクロホンをセットします。
7. VOXユニットをクリップで、ポケット等に固定します。

図1



■VOX運用

トランシーバーのPTTスイッチを操作せずに、音声信号で、送信受信を自動的に切り換えます。

1. VOXユニットのVOX/PTT切換えスイッチをVOX位置にします。

ご注意

本体の電源を入れたとき、または切換スイッチをVOXにしたときから、VOXが動作するまで約3秒かかります。

2. VOXユニットの感度調整つまみを最適位置に合わせます。周囲の雑音が多い場所、または風が強いときは図2の左側に、静かな所では右側にまわしてください。

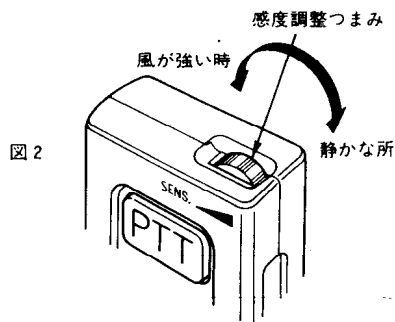


図2

3. マイクロホンに向かって話してください。トランシーバーは自動的に送信状態になり、話をやめると受信状態に戻ります。

送信の立ち上がり時間、および相手局がスケルチを使用している場合は、スケルチの開く時間によって一語程度相手に通じない状態になります。これを避けるために、「了解」等の言葉で、まずVOX回路を動作させてから交信に入る運用方法をおすすめします。本機のVOX動作保持時間は約1秒です。

■PTTスイッチによる運用

VOXユニットのVOX/PTT切換えスイッチをPTT位置にします。

これによりVOXユニットのPTTスイッチを押している間だけ送信します。

PTT運用時には、感度調整つまみで変調感度を調整できます。図2の右側に回すと変調感度が高くなります。

ご注意

1. 耳の健康のため音量はあまり大きくしないでお使いください。
2. スピーカーとヘッドホンでは能率に差があります。ヘッドホンを装着する前には、必ず音量をしぼってから耳につけてください。
3. VOX/PTT切換えスイッチがVOX位置にセットされている場合でも、PTTスイッチを押すと送信状態になります。

品質保証のご案内

1. 保証条件

正常な使用状態において、製造上の不備に起因する故障の生じた場合はお買い上げの日から1か月は無償修理いたします。この場合は領収書などお買い上げ年月日を証明できるものの提示が必要です。

2. ご注意

つぎの場合の修理は保証期間内でも有償となります。

- (1) 製造上の不備に起因する故障以外の外因的(お取り扱い不相当など)故障
- (2) 領収書などお買い上げ年月日を証明できるものの提示のない場合(領収書などを必ず保管ください)